

前立腺肥大症日帰り手術に大きな信頼

かとう腎・泌尿器科クリニック

神奈川県平塚市 かとう腎・泌尿器科クリニック 院長

加藤 忍 先生



かとう腎・泌尿器科クリニックは前立腺肥大症日帰り手術のハイボリュームセンターです。質の高い最先端の治療を求めて、全国から患者さんが訪れています。院長の加藤忍先生は日帰り手術のさらなる普及に向け、クリニック外での技術指導などに精力的に取り組んでいます。

個々の患者さんに適したオーダーメイド手術

加藤先生がかとう腎・泌尿器科クリニックを開業した背景には、「患者さんにとって最善かつ最新の医療を提供し、それを広めたい」という強い思いがあります。開業前に泌尿器科部長として勤務していた地域の基幹病院では、「優れたメディカルスタッフにも恵まれ、よい経験ができました」と振り返ります。そこで培った知見を踏まえ、日進月歩する医学技術を迅速に導入するにはクリニックを開業するのが最適でした。

患者さんにとって最も望ましい医療を提供するために泌尿器科医としての専門性を高めたいと考えていた加藤先生は、若い頃から知識・技術の向上に努め、研鑽を重ねてきました。特に自身のライフワークと位置付ける前立腺肥大症については、最新の治療法を習得するために、優れた医師がいると聞けばトルコやインドにまで足を運んで教を請い、最先端の技術を吸収し続けました。その実践の場として2013年7月に同クリニックを開設したのです。そして開業後もニュージーランドに足を運び、新たな技術習得に励んでいます。

同クリニックでは泌尿器科領域のあらゆる症例を受け入れています。最大の特徴となるのは日帰り手術です。加藤先生のライフワークでもある前立腺肥大症の日帰り手術は年間160件の実績があり、その数は国内最多レベルです。

手術室には2種類のレーザー機器が設置され、ダイオードレーザー前立腺蒸散術（CVP）と経尿道的ホルミウムレーザー前立腺核出術（HoLEP）という2つの治療法から、前立腺肥大症の患者さん個々に最も適した手術をオーダーメイドで提供しています。「前立腺肥大症治療は低侵襲の治療法が確立されたことで、安全で質の高い日帰り手術が実現できるようになりました。医学の進歩の恩恵はできる限り多くの患者さんに届けられるべきだと思っています」。



■手術室。オーダーメイドな手術を提供するため最先端の機器が複数用意されています。

ホームドクターとして患者さんに寄り添う

国内外で広く学び蓄積された加藤先生の治療技術は多くのメディアにも取り上げられているとともに、その治療を求め、同クリニックには全国から患者さんが訪れます。多くの患者さんを執刀することで、その手腕をさらに磨き上げる加藤先生ですが、決して手術件数にこだわっているわけではありません。一番大事なことは患者さんの安全だといいます。日帰り手術実施の可否については同クリニックに常勤する麻酔科医の客観的な判断に委ねています。患者さんや家族に対して日帰り手術のメリット、デメリットを詳細に説明し、理解を求めています。「患者さん自身やご家族が治療の特徴やリスクを十分に理解することで安全が担保されるからです」と加藤先生は説明します。

こうした加藤先生の診察姿勢の根幹にあるのは、医療は患者さんに寄り添うことが何よりも重要だという考え方です。医療を必要とし頼りにしてくれるあらゆる患者さんに寄り添うために、泌尿器科の高度な専門医療を提供するとともに、ホームドクターとしてプライマリケアも担います。「患者さんが何でも話してくれるような医師でありたいですね。そのためにも、患者さんの声にしっかりと耳を傾けることを心掛けています」。同クリニックには電子カルテが導入されていますが、診察時の入力には必ず医療事務スタッフが当たっています。加藤先生が患者さんの顔から眼をそらすことはありません。

今後の展望として挙げるのは、泌尿器科日帰り手術のさらなる普及への尽力です。現状、泌尿器科領域の日帰り手術は診察報酬的に恵まれているとはいえません。しかし、治療成績は高く、コストは低く、安全性も実証され、何よりも患者さんの利便性が高い治療です。加藤先生は自身の臨床成績などからエビデンスを構築し、診察報酬を含めた制度の改善に働き掛けたいと考えています。同時に、他の病院での指導や論文発表なども精力的に行い、若い世代に日帰り手術の技術、その有用性、制度上の課題などを伝えようとしています。「簡単なことではないですが、自分のやるべきことをやり、伝えるべきことを伝えながら一歩ずつ前進できたらいいですね」と語る加藤先生。患者さんにとって最善かつ最新の医療を広めるための取り組みは今後も続いています。



■泌尿器科の専門医として診察から診断、検査、治療を担う一方で、必要があれば適切な医療機関を迅速に紹介することも開業医の重要な役割だと加藤先生は考えています。

■加藤先生はニュージーランドのタウランガ病院で尊敬するGilling先生の指導を受けました。



(2020年11月取材)